

令和3年12月吉日

静岡県作業療法士会
県士会会員各位

第3回現職者共通研修（事例報告会）参加のご案内

静岡県作業療法士会 教育部
教育部理事 秋山尚也
西部地区代表 萩原正寛

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

令和3年度現職者共通研修会を以下の通り開催しますので、ご案内申し上げます。この事例報告会は、日本作業療法士協会生涯教育制度の現職者共通研修対応です。参加者は「事例検討」、発表者は「事例報告」が履修できます。

また事例報告会にて、より多くの先輩作業療法士の方々の参加により、作業療法全体の質の向上にも繋がると考えますので、ぜひ1人でも多くの先輩作業療法士の参加もお待ちしております。

謹白

—記—

1. 開催日：令和4年2月4日（金）
2. 開催方法：ZOOM
3. 参加費：無料

<使用上の注意点>

安定したネット環境を確保して下さい。パソコンでの参加を推奨します。

ビデオは基本的に off にして下さい(回線の負担が大きくなってしまう可能性があるため)。

ZOOM は質疑応答を除きミュートにてご参加下さい。

参加者名は 発表グループ (A or B)、会員番号、名前を記載して下さい

例 (A 1234 静作太郎)。

3. プログラム

テーマ 9.10 事例報告会 ⇒申し込み：グーグルフォーム

18:20～18:50 受付 参加費：無料

19:00～20:30 テーマ 9.10 「事例検討」「事例報告事」

20:30 事務連絡 終了

発表者が多いため、ブレイクアウトルームで2つの部屋（AグループとBグループ）に分かれ、事例報告会を開催いたします。申込時に、参加希望グループを選択して下さい。発表者及びグループ分けは、下記（別紙）を参照して下さい。開始時に希望したグループの変更は可能ですが、事例報告会実施中に部屋の移動はできませんのでご了承下さい。

5. 申し込み方法

グーグルフォームにて

<https://forms.gle/2QuzxxzAqRcWjBrZc7>



〆切：1月28日（金）

※開催1週間前に申し込み者に対し、ZOOMのURL等をメールにて送信させていただきます。発表者、発表者のスーパーバイザー、履修の有無にかかわらず参加希望者は必ず申し込みをお願い致します。

※1月31日（月）になっても、メールの連絡が来ない場合は、HP掲載の開催案内に掲載されている静岡県士会教育部 (otshizukyou@yahoo.co.jp) までご連絡ください。（前日も、メールが届かない会員が数名いました。必ずメールの受信を確認し、連絡がなければメールにてお問合せ下さい）

7. その他：

- ・協会及び県士会へ入会されていない方は、必ず入会手続きを済ませて下さい（参加は会員に限ります）。受講後、協会に申請をしますので協会会員番号を取得されていないと履修反映ができません。
- ・当日何か不具合等ありましたら浜松市リハビリテーション病院（作業療法士 秋山尚也宛）まで電話にてご連絡下さい。（当日メールではタイムリーに対応できないため）

TEL：053-471-8331（研修会当日のみ）対応時間：18：30～20：30

※事前の問い合わせについては下記メールアドレスまでご連絡下さい。

※申し込み後のキャンセルについては連絡不要です。

- ・今年度の事例報告会は終了しました。次回は次年度の開催となります。

8. 問い合わせ先

静岡県作業療法士会 教育部 西部地区担当 萩原正寛 宮野真伍

メール：otshizukyou@yahoo.co.jp

..... <Aグループ>

- ① 「食事の介助量軽減を目指して、左半側空間無視に対する段階的な環境調整、訓練を実施した症例」
○野島 大暉 氏 (静岡リウマチ整形外科リハビリ病院) SV:串田 雄一郎 氏
- ② 「家事動作の再獲得に向けて伝達方法を検討した症例」
○市川 遥 氏 (NTT 東日本伊豆病院) SV: 鍋谷 仁志 氏
- ③ 「上腕骨外科頸骨折に対する作業療法～可動域改善による更衣動作の自立に向けて～」
○伊藤 伸 氏 (静岡リハビリテーション病院) SV:串田 雄一郎 氏
- ④ 「描画の再開に伴い主体性の獲得が出来、生活機能の向上が見られた症例」
○武田 眞慧 氏 (NTT 東日本伊豆病院) SV:土屋 峻 氏
- ⑤ 「廃用症候群を呈した片麻痺患者における離床意欲低下に対する介入」
○杉山 卓也 氏 (静岡リハビリテーション病院) SV:串田 雄一郎 氏
- ⑥ 「訪問リハビリの介入によりサッカー観戦の再開に繋がった症例」
○作田 奈央 氏 (遠州病院) SV: 黒飛 陽平 氏

..... <Bグループ>

- ① 「若年性脳卒中の退院支援 (一運転・復職を見据えた介護部門との連携)」
○木村 潤哉 氏 (浜松市リハビリテーション病院) SV:未定
- ② 「DST チームとの連携で活動性向上に繋がった事例」
○三星 奈菜 氏 (浜松赤十字病院) SV:佐藤 圭子 氏
- ③ 「外傷性脳出血の患者に対して、メモリーノートを用いて主体的な行動を目標に介入した事例」
○酒井 壮太郎 氏 (遠州病院) SV: 伊藤 舞 氏
- ④ 「本人の行いたい作業が具体的な目標へと変化し、自己効力感の向上に繋がった一例
ー外泊での調理体験を通してー」
○ 河合 麻由氏 (浜松市リハビリテーション病院) SV: 阿部 幸栄 氏
- ⑤ 「感覚障害・高次脳機能障害を呈した症例に対しての更衣動作獲得について」
○北原 駿 氏 (静岡リハビリテーション病院) SV:原田 健太郎 氏
- ⑥ 「多彩な高次脳機能障害のある症例に対する更衣自立に向けた関わり
ー心理面に配慮したアプローチの重要性ー」
○小林 雄河 氏 (浜松市リハビリテーション病院) SV: 加藤怜嗣氏 山田 祐花子 氏